

公益社団法人 大阪府柔道整復師会
令和5年度 大阪柔整少年少女柔道大会
(中学生男子団体の部・中学生女子個人の部)
実 施 要 項

- | | |
|-------------|--|
| 1、主 旨 | 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、
柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に期することを目的とする。 |
| 2、主 催 | 公益社団法人 大阪府柔道整復師会 |
| 3、後 援 | 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市・大阪市教育委員会、NHK大阪放送局
大阪府柔道連盟、大阪府柔道道場連盟、大阪府柔道整復師協同組合 |
| 4、大会日時 | 令和5年8月27日(日) 9時開会(受付 8時～) |
| 5、大会会場 | 大阪柔整会館 5階柔道場 |
| 6、参加資格 | 監督と出場選手は、『全日本柔道連盟』登録済みであること。
団体戦の部:大阪府内在住、在籍の団体に所属する者で中学生男子の自由参加
個人戦の部:大阪府内在住、在籍の団体に所属する者で中学生女子の自由参加
※但し、他の団体との混合したチームの参加は認めない。 |
| 7、試合方法 | ① 国際柔道連盟試合審判規定「少年大会特別規定」並びに本大会申し合わせ事項に準じて行う。
② 個人戦においての判定基準は「技有」または「指導差2」以上とし、「指導差1」
または同等の場合は僅差をもって勝敗を決する。
団体戦においての判定基準は「技有」または「反則負け」とする。勝敗は勝数より決し、同等の場合に
内容によって決する。内容も同じ場合は任意による代表戦を行い僅差をもって必ず勝敗を決する。
③ 試合はトーナメント方式とする。
④ 試合時間は3分間とする。
但し、個人・団体戦決勝においてはロスタイム有りとする。
⑤ 逆背負投げは禁止とし、かけた場合は「反則負け」とする。
⑥ 「両袖を持って施す投げ技」を禁止とし、施した場合には「反則負け」とする。
⑦ その他不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。 |
| 8、選手構成 | 団体戦の部:監督1名 選手3名(3・2・1年生)
個人戦の部:監督1名 参加資格を有する者
ア) 1団体につき1チームまでの出場を認める。
イ) 団体戦は下位学年が上位学年に出場する事を認める。但し上位1学年までとする。
ウ) 監督は必ず1名を要し、チームの一切の責任を負うものとする。
エ) 参加選手は必ず背部にゼッケンを付けること。無い選手は出場を認めない。
(上部に個人名、下部に団体名を明記する事)。 |
| 9、表彰 | 優勝・準優勝・3位には賞状等を授与する。
団体戦において、技能優秀選手には優秀選手賞を授与する。 |
| 10、参加費 | 無 料 |
| 11、備考 | ① 本大会は大阪府柔道連盟の公認試合なので成績表を持参する事。
② 参加選手は必ず保護者の承諾を得ること。
③ 本大会における負傷等については応急処置の他、主催者は一切その責を負わない。
④ 大会当日、体調不良の者は出場しないこと。
⑤ 選手の変更は開会30分前で締切る。
⑥ 審判、監督会議を8時30分より行う。 |
| 12、申込期限 | 令和5年7月31日(月) |
| 13、申込方法 | 本会ホームページ(URL: https://www.osaka-jyusei.or.jp/)にアクセスして必要事項を記入の上、
主催者までE-mail(jyudou@osaka-jyusei.or.jp)にてお申し込み下さい。 |
| ＜ 注 意 事 項 ＞ | ・大会1ヶ月前以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
・大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)。
・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
・監督・コーチの服装は審判員に準じた服装でお願いいたします。
・駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さい。
・会場内では、換気やこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施して下さい。
また、当日体調がすぐれない人(発熱、咳、倦怠感等の症状など)は参加をお控えください。 |